

H23. 8. 13

# 「潰瘍性大腸炎」と「虚血性腸炎」

Dr.

和の町医者日記

「便」シリーズ⑦



長尾和宏 (ながお・かずひろ)  
 東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで、人を診る、総合診療を目指す。医学博士。労働衛生コンサルタント。53歳。ブログ (<http://www.nagaoclinic.or.jp/doctorblog/nagao/>) が好評。

「血便が出ました」とあわてて入って来られる患者さんへ。  
 今回は頻度が高い割にはあまり知られていない2つの腸炎を紹介します。私は「落ち着いてください」と言い、顔をよく診て、話(血便の出方をよく聴き、お腹をよく触ります。大腸がんを心配する人が多いのですが、実はそうではありません。若い人の血便を見たら、まず「潰瘍性大腸炎」という病

## 知っておきたい2つの腸炎

は、この病気であると確定し  
 ます。直腸型、左半結腸型、  
 全結腸型に分類されます。幸  
 いなことにメサラジン(商品  
 名、アサコール、ペンタサ)  
 という特効薬があります。  
 重症例には副腎皮質ステロ  
 イド、アザチオプリン(イム  
 ラン)、生物学的製剤と呼ば  
 れるインフリキシマブ(レミ  
 ケード)の点滴、さらに外科  
 手術を要する例もあります  
 が、大半は飲み薬で炎症を落  
 ち着かせ(寛解)られます。  
 炎症が長期間に及ぶことが  
 まれではなく、大腸がんを含  
 併する可能性があるので定期  
 的に内視鏡検査を行うことが

大切。現在、私のような町医  
 者でも潰瘍性大腸炎の患者さ  
 んを何人か診ています。主に  
 小腸が侵される「クローン病」  
 と併せて「炎症性腸疾患(IB  
 D)」と呼ばれています。  
 そうそう、前回、お話しし  
 た過敏性腸症候群(IBS)  
 と略字で1字違いですね。従  
 来、両者は全然別の病気だと思  
 われてきましたが、最近、  
 一部がオーバーラップしてい  
 ることが分かってきました。

**虚血性腸炎** 突然の腹痛、下痢、下血で発  
 症。高齢者が多いが、便秘の若い女性にも見ら  
 れる。糖尿病、膠原(こうげん)病などの基礎疾患を  
 有することが多い。狭窄型や壊死型などの重症例は外  
 科手術することもある。

一方、高齢者が「急に左下  
 腹が痛くなって血便が出た  
 !」と入ってこられたらどう  
 でしょう。私は「虚血性腸  
 炎」を疑います。「虚血性腸  
 炎」とは腸に行く血管が閉  
 塞、腸管が壊死状態となり、  
 粘膜がただれて出血する病気  
 です。  
 内視鏡で診ると、ある区域  
 に限局した炎症や潰瘍が観察  
 されますので、ほぼその場で  
 診断できます。やはり何時も  
 内視鏡は大変便利です。この  
 病名を告げると、患者さんは  
 聞いたことのない病気なので  
 驚かれます。しかし「大半は  
 早く勝手に治りますよ」と説  
 明すると安心されます。  
 昔は全例入院させ、数日間  
 絶食にしていたましたが、最近  
 は軽症であれば外来で治療す  
 ることもあり。私の場  
 合、2〜3日絶食で様子を見  
 ています。(今回は、「腸年齢」につ

今回、お話しした「潰瘍性  
 大腸炎」「虚血性腸炎」とい  
 う2つの病気。両者の共通点  
 は、がんとは違い「良性」の  
 病気であることです。では、  
 相違点はなんでしょう? 前  
 者は慢性的の病気、後者は急  
 性・一過性の病気であること  
 (9割は1回限り)です。  
 ノロウイルスやO1157  
 などによる感染性胃腸炎も、  
 あくまで急性・一過性の病気  
 です。一方、潰瘍性大腸炎は  
 慢性に経過し、寛解と増悪を  
 繰り返すことが多いので、近  
 くに「腸のかかりつけ医」を  
 見つけておくことが大切に  
 してです)

ひょうご